



ケニア共和国へ 看護師を派遣

～地域保健強化のために～

東アフリカに位置するケニア共和国に、神戸赤十字病院の二星智恵子看護師を派遣することとなり、8月31日に出発式を行いました。

日本赤十字社はケニア赤十字社と協力し、2007年から同国北東部のガルバチュウラ県で、5歳未満児と妊産婦の疾病・死亡数の減少と保健

医療サービスへのアクセス向上を目的に、村人たちから選ばれた地域保健ボランティアの育成をはじめ住民への健康教育や保健対話集会の開催、医療施設の修理や医療資機材の整備などを行う地域保健強化事業(別称「愛ホップ(IHOP)」)に取り組んでいます。

二星看護師の派遣は、9月4日から来年3月6日までの予定。現地の人々が自分の力で事業を継続し、成果につなげることができるよう、事業の進捗状況の確認や直面する課題への対応アドバイスなどを行います。



出発式で同僚から
花束を受け取る二星看護師(左)

IHOP:地域保健強化事業の英語標記 Integrated Health Outreach Projectの頭文字